

高校日本史プリント（過去問類似）

近代 I（開国～明治） No.5

名前

得点

/10

問1 大日本帝国憲法の制定に際して、伊藤博文や井上毅、金子堅太郎らによる憲法草案の起草・編纂作業に深く関わり、ドイツ（プロイセン）憲法の立場から法的な助言を与えたお雇い外国人の法学者は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. フルベッキ 2. ジェーンズ 3. フェノロサ 4. ロエスレル

問2 1909年に日比谷公園で発布二十周年の記念祝賀会が開催された憲法が、1889年に発布された当時の内閣総理大臣は誰か。（2017年 全国公立入試 類似）

1. 山県有朋 2. 伊藤博文 3. 松方正義 4. 黒田清隆

問3 日清戦争の賠償金の一部を原資として建設され、1901年に操業を開始した官営の製鉄所では、近隣の筑豊炭田から燃料となる石炭を調達する一方、原料となる鉄鉱石の多くを清（中国）のどこの鉱山から輸入したか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. 茂山鉄山 2. 撫順炭鉱 3. 大冶鉄山 4. 鞍山鉄山

問4 明治政府は、欧米の先進的な技術や学問、制度を急速に導入するため、多額の俸給を支払って多くの欧米の専門家を雇用した。東京医学校で近代医学を講じたベルツや、工部大学校で建築学を教え鹿鳴館などを設計したコンドルに代表される、これら政府に雇用された外国人の総称を何というか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. 五箇条の誓文 2. 官営模範工場 3. 自由民権運動 4. お雇い外国人

問5 大日本帝国憲法の発布直後、当時の首相が「政府は政党の意向に左右されず、常に一定の途を遵守すべきである」という趣旨の態度を表明した。このように、政党の動向から距離を置き、独自に政策を遂行しようとする明治政府の政治姿勢を何というか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 藩閥政治 2. 国粋主義 3. 超然主義 4. 欧化主義

問6 1872年に明治政府によって公布され、身分や性別の区別なく国民皆学を目指した、日本最初の体系的な近代学校制度を定めた法令は何か。なお、この法令の実施にあたっては、学校の建設費や維持費、授業料などが民衆の直接負担とされたことや、労働力である子供を奪われることへの不満から、各地で小学校を襲撃するなどの激しい反対運動が起こった。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 大学令 2. 教育令 3. 学校令 4. 学制

問7 明治政府は、1885年に近代的な行政機構を確立するため、初代内閣総理大臣に伊藤博文が就任する形で内閣制度を創設した。この内閣制度の導入に伴って廃止された、最高官庁を中心とする従来の政治体制を何というか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 太政官制 2. 版籍奉還 3. 内閣制度 4. 廃藩置県

問8 明治初期、台湾出兵や征韓論をめぐる対立から下野していた木戸孝允や板垣退助を政府に復帰させ、体制を立て直すために大久保利通らとの間で行われた政治会談を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 大阪会議 2. 壬午事変 3. 甲申政変 4. 大津事件

問9 明治政府は、ロシアに対する北方警備と領土の近代化を推進するため、1869年に蝦夷地を北海道と改称し、現地における開発と行政を担う直轄の官庁を設置した。アメリカからケブロンなどの技術者を招いて近代産業の育成を図った、この官庁の名称を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 開拓使 2. 司法省 3. 参事院 4. 内務省

問10 明治政府は、欧米の先進的な学問や技術、制度を急速に導入するため、多額の俸給を支払って欧米の専門家を多数招聘した。治水事業を指導したデ・レーケや、建築分野のコンドル、大森貝塚を発見したモースなどに代表される、これらの専門家を総称して何と呼ぶか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 文明開化 2. お雇い外国人 3. 殖産興業 4. 官営模範工場

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 4 ロエスレル	明治政府は近代国家としての体制を整えるため、ドイツ（プロイセン）の憲法制度を模範とした。憲法草案の起草にあたっては、ドイツ人法学者のロエスレルが顧問として招かれ、伊藤博文や井上毅、金子堅太郎らの編纂作業に対して重要な助言を行った。
問2	答え 4 黒田清隆	1889年2月11日に大日本帝国憲法が発布された当時の内閣総理大臣は黒田清隆である。黒田は憲法発布の翌日に、政府は政党の動向に左右されず超然として公正な態度をとるべきであるという「超然主義」を表明した。この憲法発布から20年後の1909年には、日比谷公園で記念祝賀会が催された。
問3	答え 3 大冶鉄山	官営八幡製鉄所は、操業に必要な石炭を近くの筑豊炭田から調達したが、鉄鉱石については国内での自給が困難であったため、清（中国）の湖北省にある大冶鉄山から輸入した。これにより、日本の近代重工業は大陸の資源に依存する構造が形成されることとなった。なお、筑豊炭田は石炭の供給地であり、鉄鉱石の供給地ではないため混同に注意が必要である。
問4	答え 4 お雇い外国人	明治政府は近代化を急ぐため、欧米から優れた技術者や学者を「お雇い外国人」として高額な給与で招いた。彼らは日本の学術・技術・教育の近代化に大きく貢献し、日本人後継者が育つとともに順次解雇されていった。
問5	答え 3 超然主義	大日本帝国憲法が発布された翌日の1889年2月12日、黒田清隆首相は地方長官を前に演説を行い、政府は政党の外に立って公正な態度を貫くべきであるという方針を表明した。これが初期議会における政府の基本方針となった。
問6	答え 4 学制	1872（明治5）年に公布された学制は、フランスの学区制を手本とし、国民皆学を理念とした。しかし、学校の建設費や運営費、授業料が民衆の直接負担とされたため、重い負担に怒った民衆による小学校の打ちこわしなどの反対運動が起こった。なお、「血税」という言葉への誤解から一揆が起きたのは、翌1873年の徴兵令（徴兵告諭）に対するものである。
問7	答え 1 太政官制	1885年の内閣制度創設に伴い、それまで最高官庁として機能していた太政官制が廃止された。これにより、行政権の近代化と強化が図られ、国会開設や憲法制定に向けた準備が進められた。太政官制と内閣制度が併存したわけではない点に注意が必要である。
問8	答え 1 大阪会議	征韓論争（明治六年の政変）や台湾出兵に反対して下野した木戸孝允や板垣退助を政府に復帰させるため、1875年に大久保利通、木戸、板垣らが会談を行った。この会談の合意に基づき、立憲政体の樹立に向けた改革が進められることとなった。
問9	答え 1 開拓使	戊辰戦争終結後の1869年、明治政府は北方の防衛と開発を本格化させるため、この官庁を設置した。アメリカの農務長官であったケブロンらを御雇外国人として招き、大規模な農業や鉱工業の近代化を推進した。
問10	答え 2 お雇い外国人	明治政府は近代国家の建設を急ぐため、欧米から多数の専門家を雇用した。彼らは技術指導や教育、法制整備など多岐にわたる分野で日本の近代化を支え、日本人専門家が育つまでの橋渡し役を務めた。